



9年前、私は長野県に初めて行きました。伊那市でのイチゴ狩りが目的でしたが、日本アルプスを見るときれいで、写真を撮りました。ちょっと寒かったけど、晴れて、日本アルプスまでよく見える天気でした。山の名前は分かりませんが、いい景色と思います。イチゴはもっちり美味しい。冬はスキー場があります。夏は登山ができます。春夏秋冬アウトドアのこといっぱいできる。大阪府から遠いけど、時間があったら、是非日本アルプスの近くの伊那市に行ってみてください。(本部職員 Eric Baptiste)

出版物のご紹介



被災記憶と心の復興の宗教社会学
—日本と世界の事例に見る

出版社：明石書店
編著：三木 英
(グローバルビジネス学部教授)

あなたの『おきにいり』&『うちの〇〇ちゃん』是非紹介して下さい！



さらにいろいろ情報をfacebookでご紹介しています。
facebook.com/kuskusOIEI

ボトルフルートチャレンジ！「うちで踊ろう」

大阪国際大和田中学校高等学校吹奏楽部

星野源さんの『うちで踊ろう』を大阪国際大和田中学・高等学校吹奏楽部がリモートで、空き瓶やペットボトルを使ってボトルフルート演奏をしました。

4月25日、26日に予定していた定期演奏会「第27回 Spring Concert」が新型コロナウイルスの影響により、延期・中止を余儀なくされました。この動画に出てくる写真はコンサートに向けて作りあげてきたものの一部です。この動画は中高生たちがコンサートに向け準備してきたものを少しでもお伝えしたいという思いと、吹奏楽に取り組むミュージシャンとして、社会に向けて「Stay Home」のメッセージを発信したいという思いから作りました。

生徒たちのメッセージを是非、受け取ってください。



スマートフォンで左記QRコードを読み取ってください。

http://www.owada-h.oiu.ed.jp/diary/index.php?c=blog2_view&pk=1589161270
5月12日に公開以来、多くの新聞やサイトで紹介されました。



2020年6月10日発行
大阪府守口市藤田町6-21-57
学校法人 大阪国際学園 企画・広報室
koho@oiu.jp



<https://www.oiei.jp/kusutto/>
こちらのホームページでバックナンバー等ご覧いただけます。



No.85

名前『くすくす』の由来は、「くすくす談笑する様子」と「すくすく育つ」をかけています。

皆さまお元気ですか？ コロナ疲れはたまっていませんか？

これまで公開講座に講師として登場した本学の教員より皆さまにメッセージをお届けします。

Stay Home

ある日の夕方お隣からタケノコの木の新芽をいただいた。朝、山椒があまりにいい香りだったのでおすそ分けしたら、夕方お料理になって返ってきた。「エビで鯛を釣った」のか、わらしべ長者なのか。ご近所に感謝。

新型コロナは脅威なのでしょうか？ 私達は日常的に生命を脅かすリスクをマネジメントして生活しています。事故に遭わないよう安全確認して横断、心臓発作の予防にかかり湯をして入浴など。ウイルスもマネジメントすれば脅威ではなくなると思えますよ。



人間科学部 人間健康科学科
山口直範 教授

国際教養学部
国際コミュニケーション学科
齋藤由紀 教授



コロナ対策で自宅に籠っているのでNHKの「日本人のおなまえ」をよく観ます。先日、親戚の全国に約60名しかいない稀少姓「栗花落・つゆり（梅雨入の頃に栗の花が散る）」が紹介されていたので、早速電話で知らせたら大喜びでした。



人間科学部 人間健康科学科 眞鍋 昇 教授

今年の天神祭は、コロナ禍のために中止となりました。天神祭をはじめとする日本三大祭は、すべて都市において夏期に行われるもので、その目的は疫病退散です。今年も、平安時代以来の神事は途切れずに執行されます。



国際教養学部 国際観光学科
笠井敏光 教授



行きつけのあの店で。立飲み屋のカウンターで。たこ焼き屋の小さなスペースで。地域のお祭り。地域のことやご自身の人生について、いつも親切に話して下さいみなさんに、早く会いたいです。

人間科学部 心理コミュニケーション学科
上原健太郎 講師

コロナに負けない！

6月に入り、大学に併設された大和田幼稚園から、元気な子供達の声が聞こえてきます。道路に面した園庭をのぞくと「いらっしやいませ。」「何がいいですか?」と砂場でお店屋さんごっこが始まっていた。家族で、仲良くお買い物に行ける日が早く来ますように。



短期大学部 幼児保育学科
角地佳子 准教授

「こころの一人暮らし」が下町には少ない、という話をさせていただきました。人には精神的結びつきが重要だという心理学の知見どおり、この臨時号が皆さまと本学の心をつなぎ続け、心豊かになることを願っています。



基幹教育機構
森上幸夫 教授

コロナにも負けず、歳にも負けず、頑張れ自分!!

コロナ自粛で身体が鈍るのを予防するため、自宅で筋力トレーニングを始めた。トレーニングの様子を90歳になる父が見ているので、簡単なトレーニングを選んで誘ってみた。1週間経って父から「皺が寄ってた足(太もも)の皺が無くなった。」と言う報告が。「筋肉が発達したんだね~よかったね!」と私。いくつになっても筋肉は発達します。この機会に「お家トレーニング」始めて見ませんか?



人間科学部 人間健康科学科 西岡ゆかり 准教授

現在、ソーシャルディスタンスが求められていますが、保育や子育てでは、常に身体のふれあいが大切にされてきました。今は身体より心の近さこそが真のふれあいであることを再認識するための時間なのでしょう。



短期大学部 幼児保育学科 久保田健一郎 教授